

膵臓がんレジメン一覧

2024年9月更新

レジメン名

[mFOLFIRINOX](#)

[GEM+NabPTX](#)

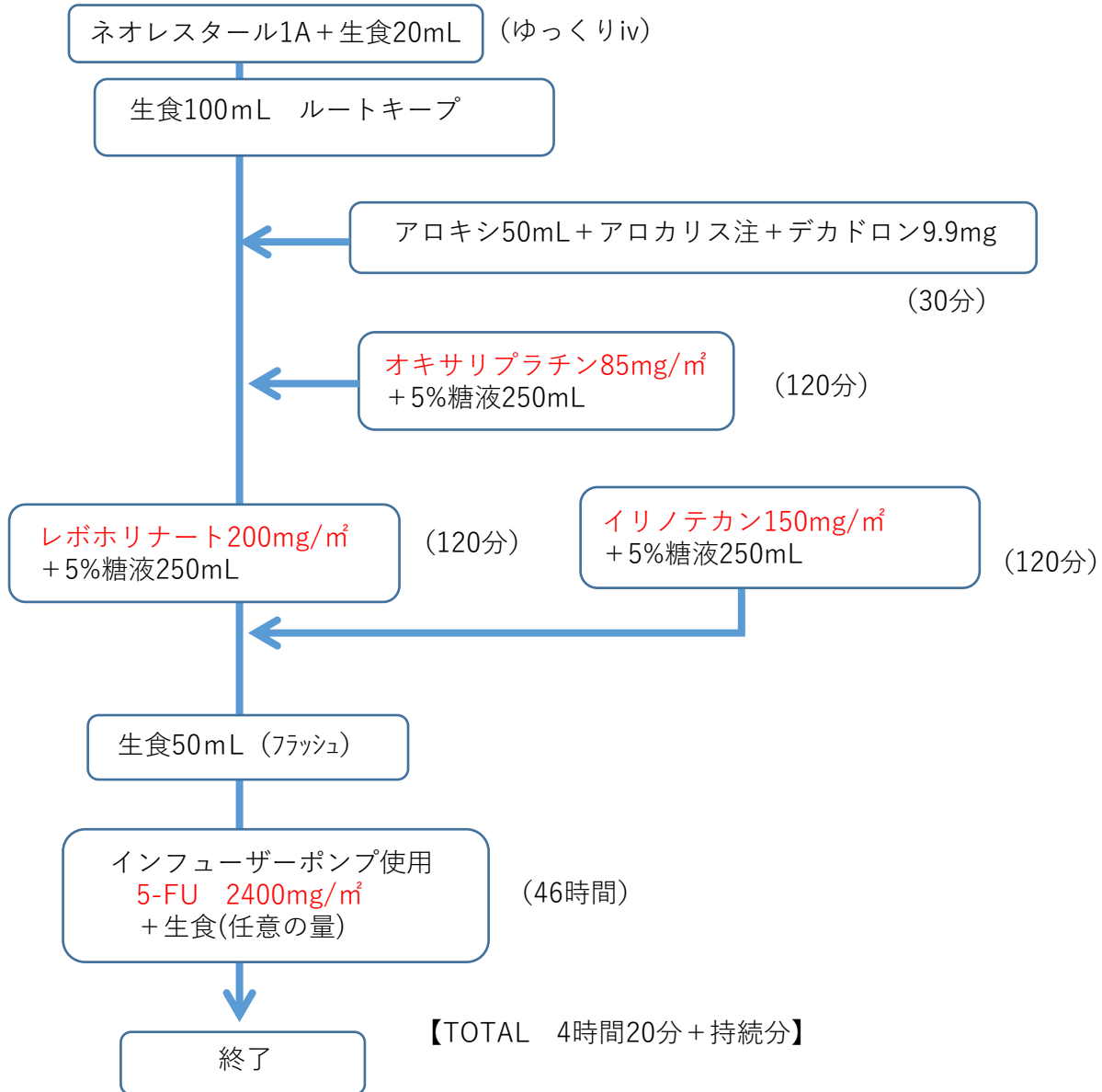
[GEM](#)

[NaI-IRI+5FU+LV](#)

[S-1 + GEM](#)(膵がん)

mFOLFIRINOX

【Day1】



薬剤	Day	1コース		2コース	
		1		15	
L-OHP (オキサリプラチン)	85mg/m ²	●		●	
LV レボホリナート	200mg/m ²	●	← 同時	●	← 同時
CPT-11 (イリノテカン)	150mg/m ²	●	← 同時	●	← 同時
5-FU (46時間持続)	2400mg/m ²	← 46時間 →		← 46時間 →	

膵臓癌

1コース2週おき

- ・ 高度催吐レジメン

糖尿病患者でない場合には、制吐薬：オランザピン5mgの併用推奨

(day1~day4 日中の眠気を考慮し夕食後 眠気が強い場合は2.5mgも考慮)

- ・ 末梢神経障害に注意 (オキサリプラチン)
- ・ イリノテカン投与中の下痢 (即発性と遅発性) に注意
- ・ イリノテカン投与中のコリン作動性症状に注意 (発汗、下痢、呂律が回らない)
- ・ 下痢・口内炎・手足症候群・色素沈着に注意

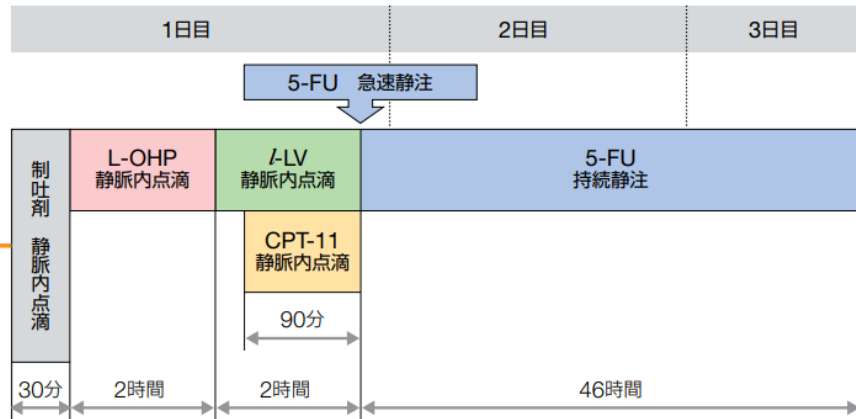
Modified FOLFIRINOXについて

ACCOD試験・国内臨床試験での投与量・スケジュール

2. 投与スケジュール

● 2週間を1サイクルとして、下図の投与を繰り返します。

I. 国内FOLFIRINOX試験(原法)の投与スケジュール²⁾



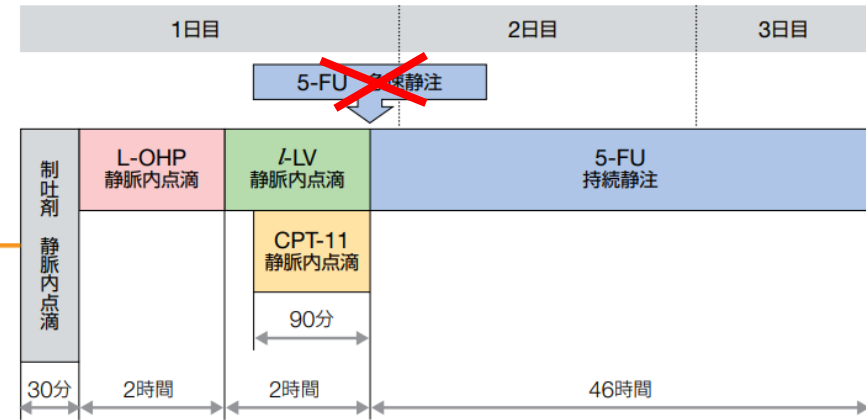
各薬剤の初回投与量

L-OHP	CPT-11	I-LV	5-FU (急速静注)	5-FU (持続静注)
85mg/m ²	180mg/m ²	200mg/m ²	400mg/m ²	2,400mg/m ²

制吐剤の予防投与

悪心・嘔吐を予防するため、5-HT₃受容体拮抗剤、デキサメタゾン、選択的NK₁受容体拮抗剤等の制吐剤の予防投与を実施してください。

Modifid FOLFIRINOX



各薬剤の初回投与量

L-OHP	CPT-11	I-LV	5-FU (急速静注)	5-FU (持続静注)
85mg/m ²	180mg/m² 150mg/m ²	200mg/m ²	400mg/m² 省略	2,400mg/m ²

制吐剤の予防投与

悪心・嘔吐を予防するため、5-HT₃受容体拮抗剤、デキサメタゾン、選択的NK₁受容体拮抗剤等の制吐剤の予防投与を実施してください。

- ① イリノテカン は 150mg/m² へ 減量
- ② ボーラスの 5-FU は 省略

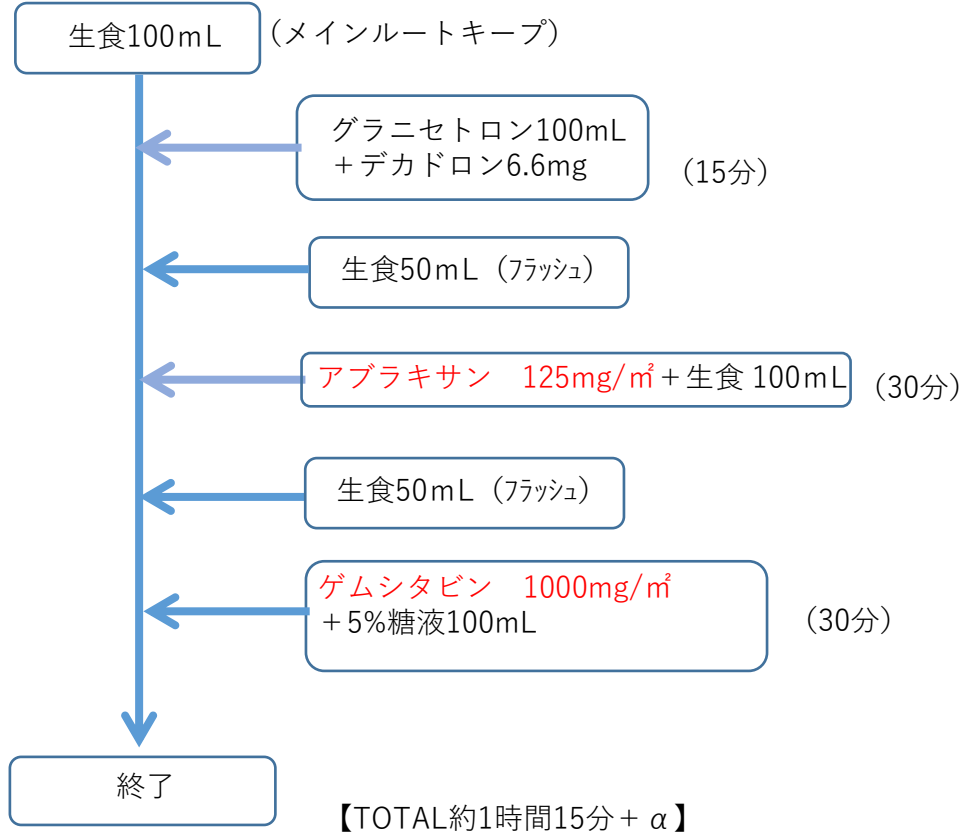
膵がん

1コース

2コース

薬剤	Day	1	8	15	21	28
NabPTX	125mg/m ²	●	●	●	休	●
GEM	1000mg/m ²	●	●	●	休	●

【Day1・8・15】



1コース 4週

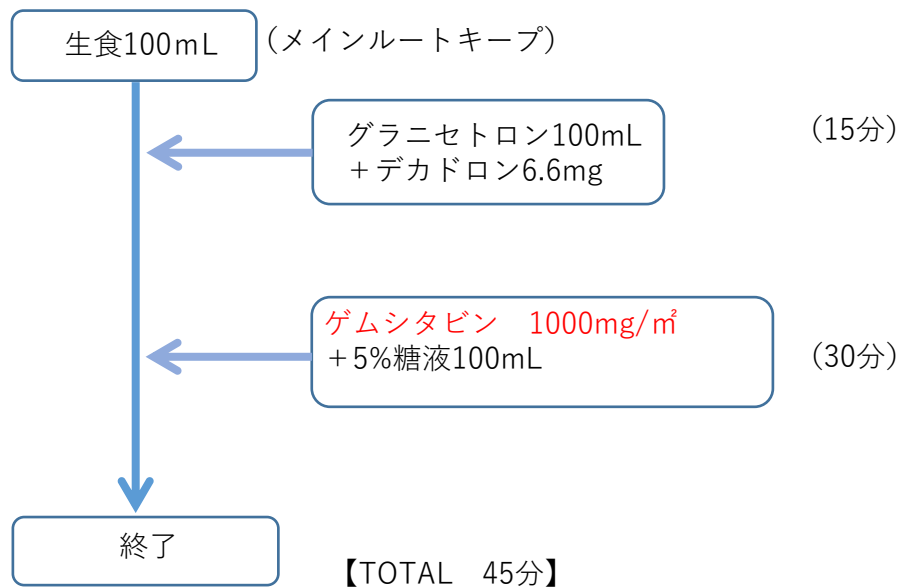
- 中等度催吐レジメン (NabPTX :軽度 GEM : 軽度)
- NabPTXの蓄積性の末梢神経障害に注意
- GEM投与時の血管痛に注意 (軽減のため5%糖液で溶解)
- GEMの投与時間が60分を超えると骨髄抑制が増強する可能性あり

GEM単独

膀胱がん

[一覧へ戻る](#)

【Day1・8】



薬剤	Day	1コース						2コース
		1		8		15	21	28
GEM	1000mg/m ²	●		●		●	休	●

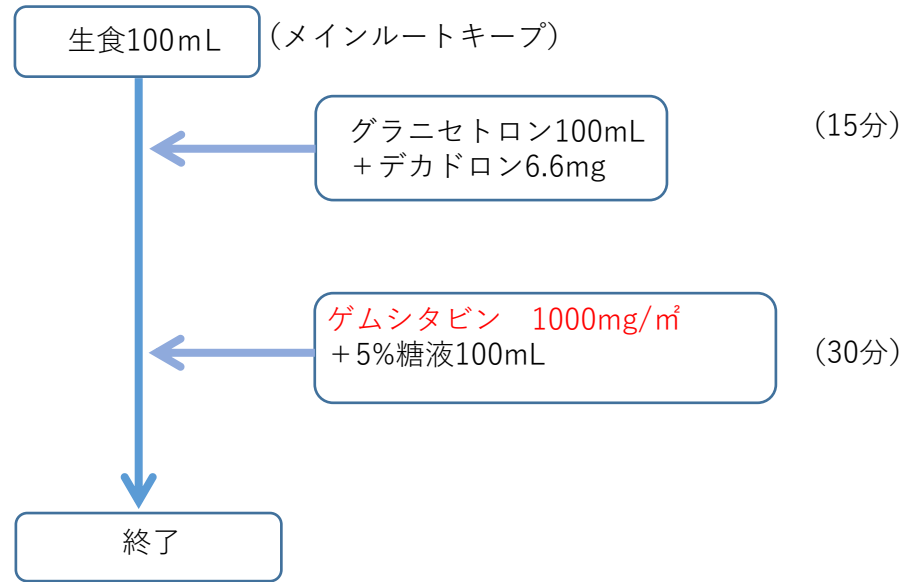
1コース 4週

- ・ 軽度催吐レジメン (GEM: 軽度)
- ・ GEM投与時の血管痛に注意
- ・ 投与時間が60分を超えると骨髄抑制が増強する可能性あり

GEM: day1.8.15 4週毎

S-1+GEM

【Day1・8】



【Day1-14】

S-1内服：80mg/m²/日 分2

【TOTAL 45分】

薬剤	Day	1コース					2コース
		1	8	14	15	22	
S-1	80mg/m ² /日 分2 内服	●	→			休	●
GEM	1000mg/m ²	●	●		休	●	

1コース 3週

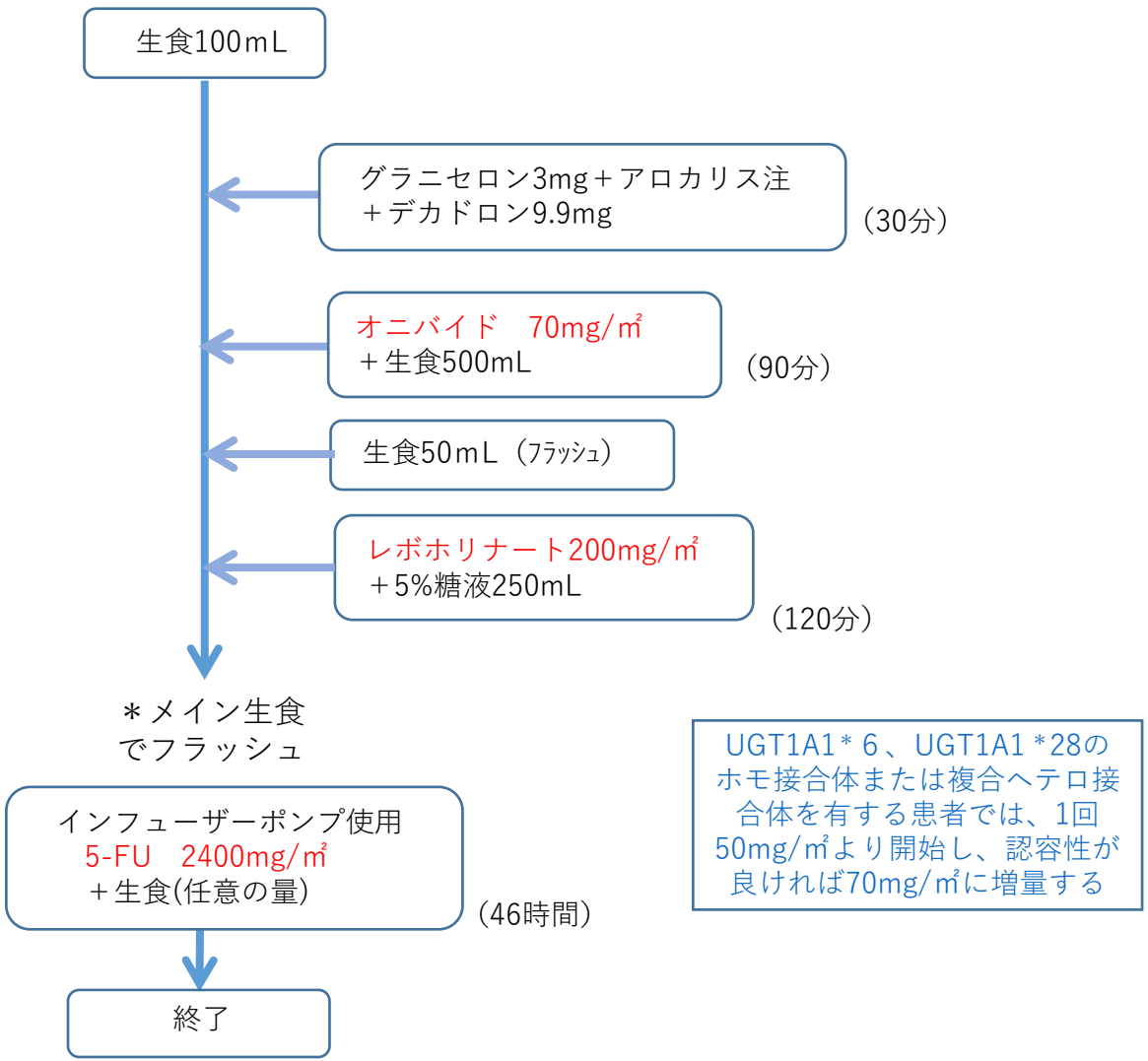
- ・ 中等度催吐レジメン (GEM：軽度 S-1：軽度)
- ・ GEM投与時の血管痛に注意
- ・ 投与時間が60分を超えると骨髄抑制が増強する可能性あり

GEM：day1.8

S-1：80mg/m²/日分2 day1-14 3週間毎

nal-IRI+5-FU/LV

【Day1】



UGT1A1*6、UGT1A1*28の
ホモ接合体または複合ヘテロ接
合体を有する患者では、1回
50mg/m²より開始し、認容性が
良ければ70mg/m²に増量する

【TOTAL3時間45分+持続分】

薬剤	Day	1コース		2コース	
		1		15	
Nal-IRI (オニバイド)	70mg/m ²	●		●	
LV レボホリナート	200mg/m ²	●		●	
5-FU (46時間持続)	2400mg/m ²	←46時間→		←46時間→	

膵臓癌

1コース2週おき

- ・中等度催吐レジメン
- ・オバド 投与中の下痢（即発性と遅発性）に注意
- ・オバド 投与中のコリン作動性症状に注意（発汗、下痢、呂律が回らない）
- ・下痢・口内炎・手足症候群・色素沈着に注意